

高評価につながりやすい

# 研究計画調書（応募用紙）の書き方・ポイント



必見

## 成功率の高い『助成研究申請書』の書き方を動画で公開しています！

2015年9月に福岡で開催された「第62回日本栄養改善学会学術総会」のランチョンセミナーで、東京大学大学院医学系研究科 佐々木敏教授が講演された内容を公開しております。

資料と動画を公開しておりますので、ご覧いただき参考にしていただけますと幸いです。

テーマ：「研究助成費獲得のツボ  
成功率の高い「助成研究申請書」の書き方」

東京大学大学院 医学系研究科

佐々木 敏 教授

〈やずや食と健康研究所 助成研究評議委員〉



動画はこちら

資料はこちら



※無断転載・複製・配布行為はご遠慮ください。

ポイント

1

### 研究課題名が主題・副題に分かれており、研究内容が明確である。

研究課題名		【参考例】肥満妊婦における至適栄養管理に関する検討					主題
要約 ※150字以内		肥満妊婦（全妊婦の約10%）の母児合併症を予防し、児の成長を十分に促進し得る”至適栄養基準“を明らかにする。また、肥満妊婦に適切な食生活を身につけさせることで、母子の生涯にわたる健康維持・増進に寄与することを目指す。					副題
研 究	フリガナ 氏 名	年齢	歳	性 別	職 業	参考例 2008 年度研究助成論文	
	名 称						
	連 絡 先 住 所	〒					



応募用紙でまず一番見るのが、研究課題名です。

主題と副題に分けて書いていただき、研究課題名（主題）だけで何を明らかにする研究なのか明確に分かるように、要約（副題）は「対象者は誰なのか」「研究で明らかにすること」「何に役立つのか」という視点で記載をお願いします。

上記は、過去にご応募いただいた方の応募用紙ですが、この部分だけで目的までしっかりと理解することができ、非常にわかりやすいタイトルでした。

## 要約した文章が、簡潔で分かりやすい。

## 【実施目的】 1. 構造化要約

本欄には、目的と計画の要約を1,000字以内で明確に記入してください。  
 複数年にわたる助成研究を希望する場合は、【方法】と【予想される結果】について、  
 研究全体に加えて年度ごとの【方法】と【予想される結果】も簡潔に記入してください。

※文字数が1000字を超えるものに関しては、助成研究の対象外となるため必ず字数を厳守すること。

【背景】…約200文字程度

簡潔な文章で、できるだけ分かりやすく記入してください。

それぞれの項目の文字数はあくまでも目安ですが、  
 全体で1,000文字を超えないように記入してください。

背景、目的、方法、予想される結果の4つのブロックをフォーマットの時点から  
 記載しておりますので、そちらに合わせてご記入をお願いします。  
 簡潔に要点がまとめられており、分かりやすい文章が高評価のポイントです。



## 計画が、具体的かつ分かりやすい。

## 【実施目的】 2. 計画および方法

本欄には、計画および手段・方法を時系列に沿って具体的に記入してください。

- ① 実施計画に相手方の同意・協力や社会的コンセンサスを必要とする場合には、関係者の人権及び個人の利益の保護のために講じる対策・措置状況について具体的に記入してください。
- ② この課題について、これまで研究・実践活動を行っていれば、その過程（成果を含む）や準備状況等についても説明してください。
- ③ 具体的に研究を実施する場所や設備等は確保されているのか（あるいはその必要はないのか）など、応募する実施計画を遂行するための環境についても説明してください。
- ④ 企業の職員については、業務として行う研究との相違点についても説明してください。
- ⑤ 複数年にわたる助成研究を希望する場合は、全体に加えて年度ごとについても研究の流れを考慮して記入してください。

全体

1年目

2年目

3年目

研究計画が複数年にわたる場合は  
 年度ごとの流れをふまえ、研究の具体的  
 計画をわかりやすく簡潔に記入し  
 てください。



人数、期間、解析方法などを漏れなくご記入ください。  
 複数年にわたる研究の際には、必ずその年ごとに何をするのか、1年目、2年目  
 など具体的に記入をしてください。  
 予算表、費用詳細のページとの関連性も明確に記入してください。

## 研究費使用内訳詳細を1円単位で詳細に書いている。

## 【記入例】

使 用 内 訳				
設備備品費	消耗品費	旅 費	謝 金	そ の 他
8万3000円	2万円	6万円	10万円	1万円
刺激呈示用ディスプレイ・FlexScan S1701-XSTBK 3万円	紙代 5千円 プリンタインク代 5千円	研究の成果発表のための宿泊費 3万円 研究の成果発表のための交通費 3万円 内訳：■■学会 (於◎◎、2泊)	データ入力謝金1万円 (内訳：5人×2時間×1千円) 実験参加謝金6万円 (内訳：60組×1千円) 実験補助謝金3万円 (内訳：3人×10時間×1千円)	研究実施場所借上げ費 5千円 学会大会参加費 5千円
ボタンパッド・RB-530 5-button USB response box 5万3000円	外付けハードディスクドライブ 1万円	研究成果を国内の専門学会において発表する際に、宿泊費および旅費が必要となる。	これまでの所属大学への倫理申請において、1時間の実験参加等(実験補助者含む)に対し、1千円を支払うことで、承	研究①において、郵送にて質問紙の回収を行う際に切手代が必要となる。

研究に必要な機器のみでなく、紙やインクなどの備品まで、単価、個数を1つ1つ詳細に記入してください。各項目で大きく費用を占めるものについては、当該経費の必要性を記入して下さい。

複数年にわたる研究の際には、必ず年度毎の費用を記載して下さい。旅費、パソコン購入費・機器購入費に関しては申請課題に必要な不可欠なものに限ります。成果発表のための旅費は国内に限り、助成年限にかかわらず10万円を上限とします。



## 研究計画調書をご提出いただく前に

この度は、研究助成にご応募いただき誠にありがとうございます。  
研究計画調書ご提出の前に、下記項目を今一度ご確認くださいませ。

- 誤字脱字はありませんか。
- 規定の文字数を大幅に超えていませんか。
- のちに一般公開する可能性を踏まえて、わかりやすい文章で記載されていますか。
- 共同研究の場合、自分自身の役割や実行内容が明確に記載されていますか。
- ご応募いただいた研究の成果を出すために必要不可欠な備品や機材等のみを申請し、その費用の内訳や使用用途の詳細が明確に記載されていますか。

※以上をご確認のうえ、ご提出いただきますようご協力お願い申し上げます。